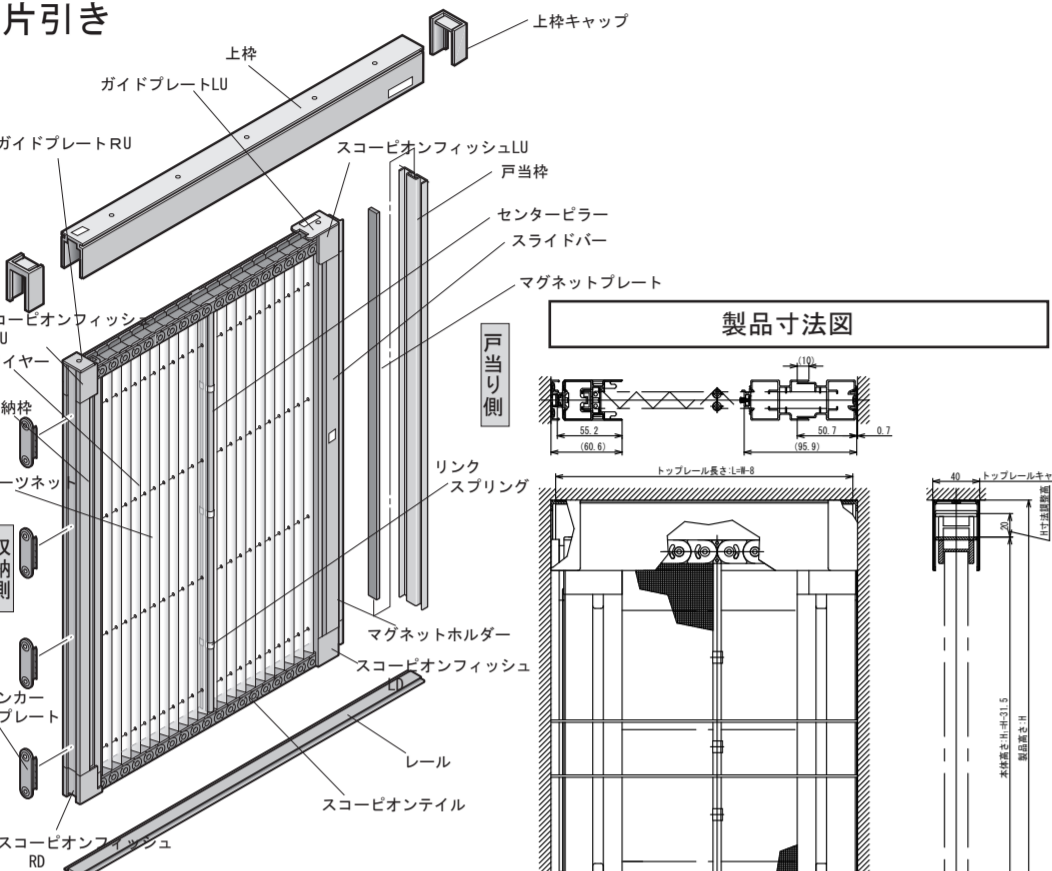


取扱説明書

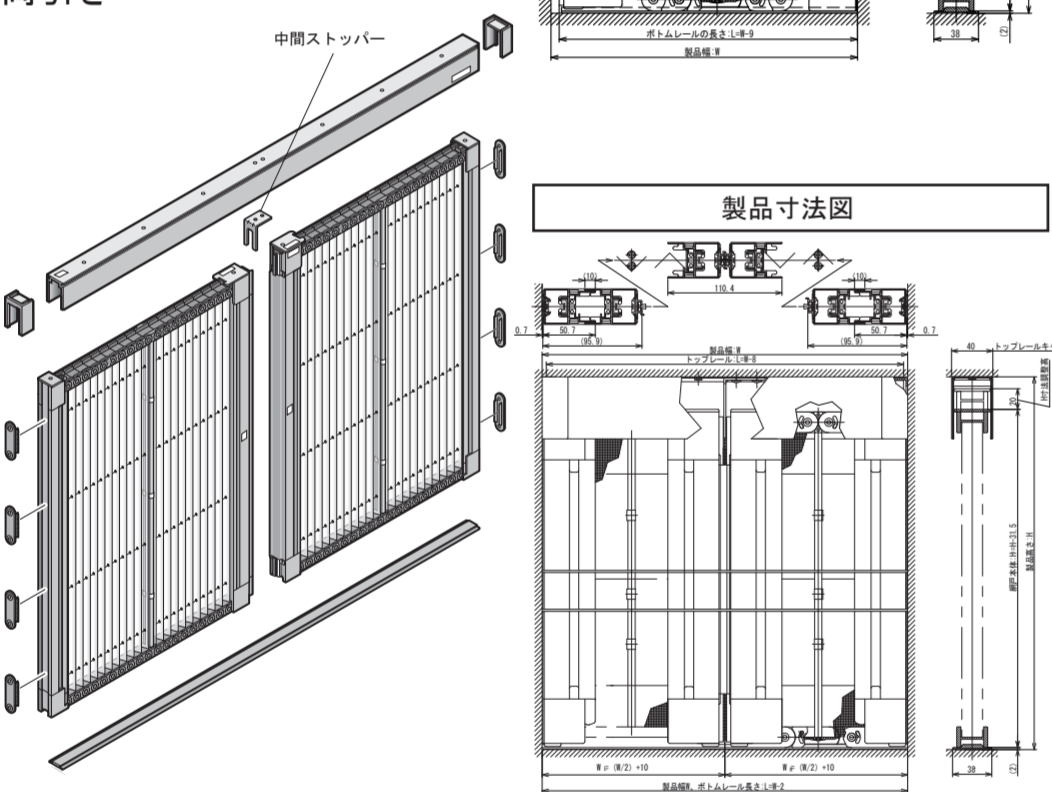
この度は、きゃたぴら網戸2ワイドタイプをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。必ずこの説明書は大切に保管してください。

構造及び部品名称

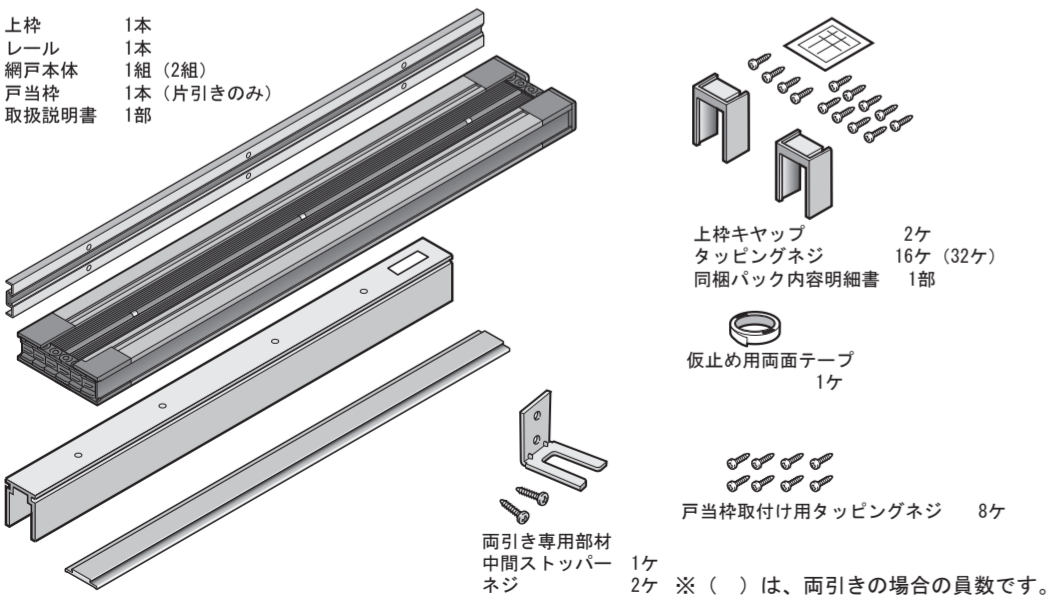
片引き



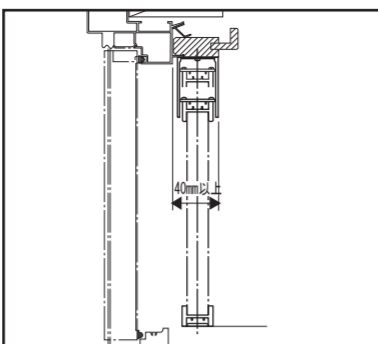
両引き



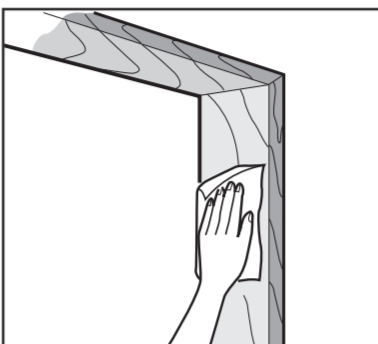
梱包内容



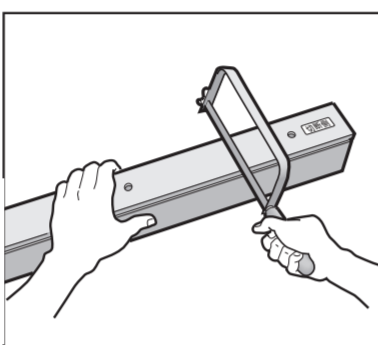
取付方法



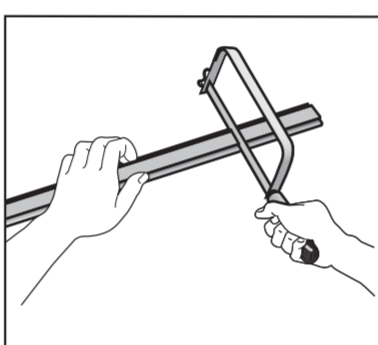
1. 取付位置の再確認
網戸の開閉に支障のないように取付位置を決めます。
①取付枠及び床に段差がなく、幅40mm以上の取付幅がある場所。
②取り付けた製品にドア用把手、クローザが干渉しないこと。
③開口部の向かい合う辺がそれぞれ平行で四隅が直角であること。



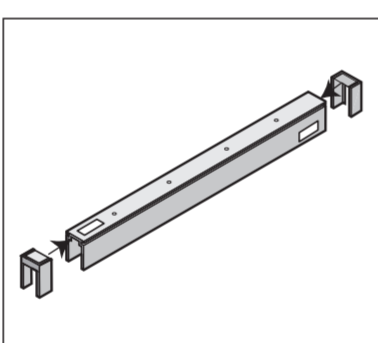
2. 取付部の清掃
製品を正確に取り付けるために、取り付け場所、及び床に付着している油汚れ、ほこり、水、砂、泥をよく落とし、乾いた布で拭き取ります。



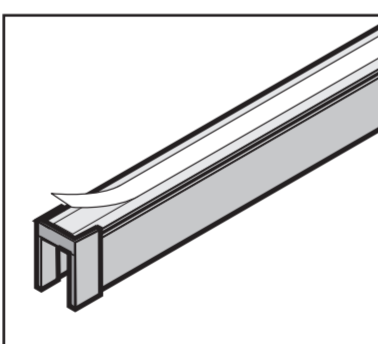
3. 上枠の切断
取付幅に合わせて上枠を切断します。
切断寸法：取付幅W-8mm
注) 上枠の切断する側には、シールが貼付されています。上枠が変形しないように切断してください。変形すると操作性に影響がでます。



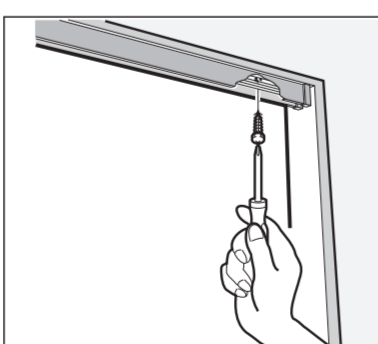
4. レールの切断
取付幅に合わせてレールを切断します。
片引きの場合 切断寸法：取付幅W-9mm
両引きの場合 切断寸法：取付幅W-2mm
注) 切り詰めすぎないようにしてください。操作性に影響がでます。



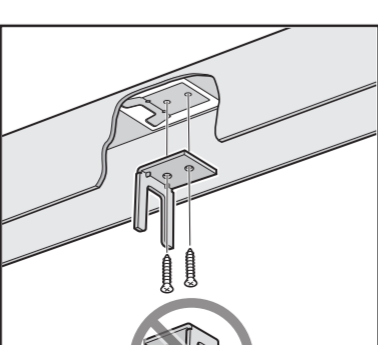
5. 上枠キャップのセット
上枠キャップを、上枠の両端に各々差し込みます。



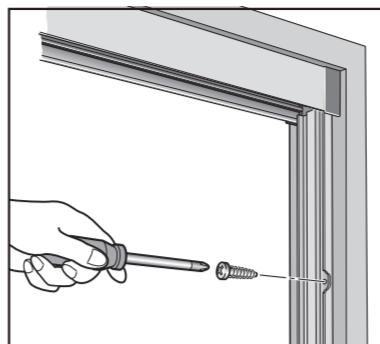
6. 上枠の取付
①上枠に仮止め用両面テープを貼付し、両面テープの剥離紙をはがします。
上枠キャップが奥まで差し込まれていることを確認し、取付位置の中央に上枠を合わせて、左右の隙間が均等になるように天井面に仮止めします。
注) 上枠は傾いたり、斜めに取り付けないでください。開閉に支障をきたします。



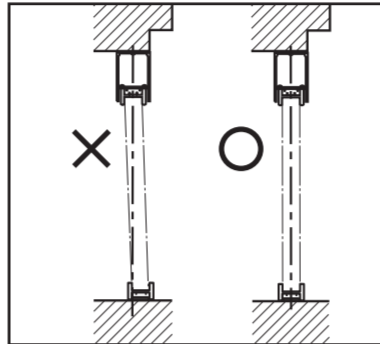
- ②上枠をタッピングネジで固定します。
注) 上枠が変形するまでタッピングネジを締めないでください。
両端のキャップを隙間がなくなるまで両側に各々押しつけます。



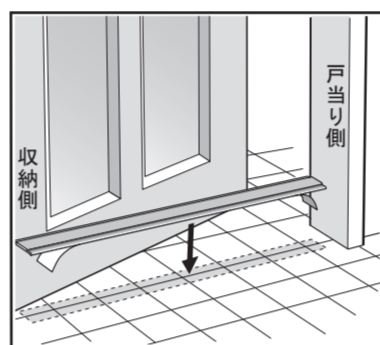
- 両引きの場合 中間ストッパーの取付
③網戸本体の召し合わせ位置に取り付けします。上枠の内側に中間ストッパーの取付向きシールが貼付されています。この向きに合わせてネジで取り付けます。
注) 上枠を切断した場合、中間ストッパーの取付位置が変わります。召し合わせ位置になる箇所に鉛筆等で印をつけ、φ4.5のドリルで下穴をあけおして下さい。



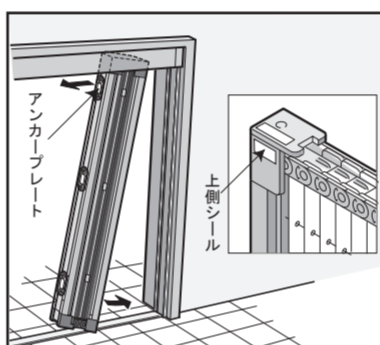
7. マグネット付き戸当枠の取付
上枠と戸当枠のセンターを合せタッピングネジで固定します。
注) 戸当枠の上下は上側シールで確認できます。



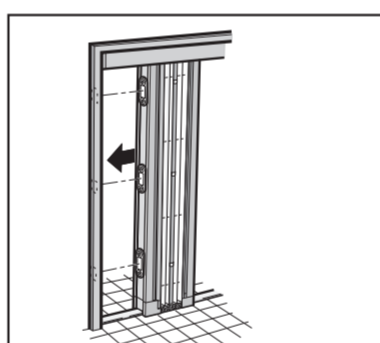
8. レールの取付
レールを接着する位置に印を付けます。
注) 上枠とレールは、センターラインが一致するように取り付けます。センターラインがずれますと開閉に支障をきたします。



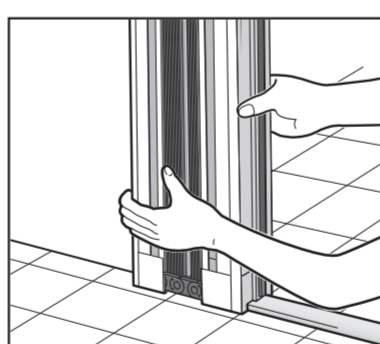
- レールの両面テープの剥離紙を剥がし、印に沿って強く押えて接着させます。収納側に寄せて取り付けます。この時戸当り側には隙間があきます。両引きの場合は、どちらかの収納側に寄せて取り付けます。
注) やり直しをすると両面テープの接着力が低下しますので予め印をした位置に接着してください。また、接着効果が正しく発揮されるためには接着後24時間の時間経過が必要です。



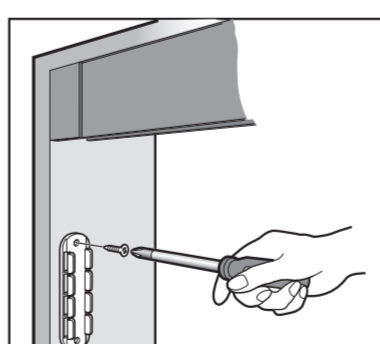
9. 網戸本体の取付
①網戸本体の結束テープをはずします。
②製品の上下を確認します。スコピオンフィッシュに上側シールが貼付されている方が上になります。
③収納枠裏側に組み付けてあるアンカープレートの両面テープの剥離紙をはがします。
④網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れます。



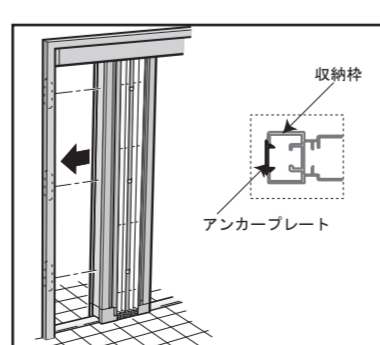
- ⑤網戸本体の下側をレールに接触させながら両面テープ接着面を取付枠側に強く押し付け接着させます。
注) 網戸本体がレールから浮かないように注意してください。取り付けが全て終了するまでは製品を開閉させないでください。故障の原因となります。



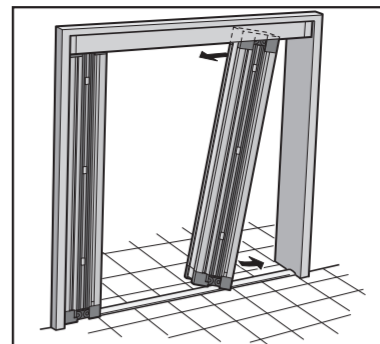
10. アンカープレートのねじ止め
網戸本体の収納枠に両手をかけ、戸当り枠方向に引っ張ると取付枠から製品がはずれます。この時、端部から順にはずすと簡単です。



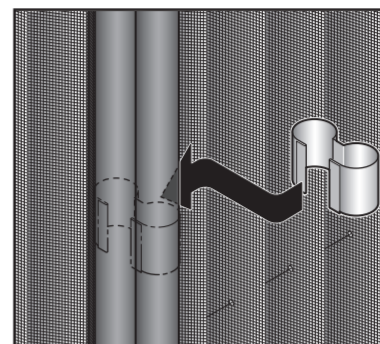
- 収納枠についていたアンカープレートは両面テープにより取付枠に仮止めされますのでタッピングネジで固定します。
注) ネジを強く締め過ぎるとアンカープレートが破損します。
電気ドライバーは使用しないでください。



- 網戸本体の取付時と同じ要領で本体がレールから浮かないように注意しながら収納枠をアンカープレートの突起に合わせて押し付けるとはまって固定されます。



- 両引きの場合
もう一方の網戸本体も同じ方法で取り付けます。



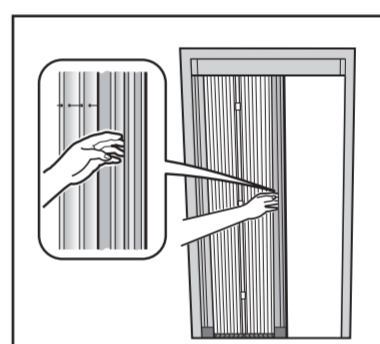
- リンクスプリングの取り付け
工場出荷時は、取り付け済みです。もしはずれていた場合、センターピラーに均等の位置になるようにはめ込みます。

取付終了と点検

- 取り付けは終了しました。お客様に引き渡す前に下記の項目について点検を行ってください。
- ①製品を数回開閉し、操作性に異常がないか確認します。
 - ②上枠、レールの取り付けに不具合がないか確認します。
 - ③形材にキズ、曲り、ゆがみがないか確認します。
 - ④アンカープレート、収納枠が各々固定されていることを確認してください。
 - ⑤スライドバーと戸当枠に隙間がないことを確認してください。

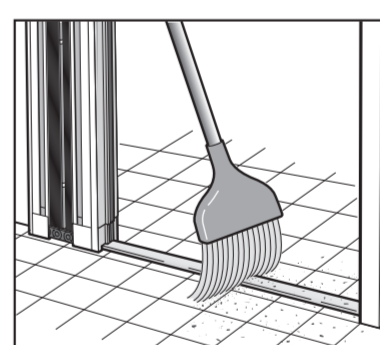
不具合などがある場合は裏面の「製品の不具合対策」を参照し、調整するか、症状によっては販売先にお問い合わせください。

操作方法

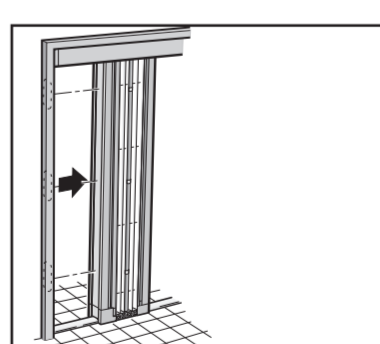


- 開閉はスライドバー中央部の手かけ部に手を掛けて行ないます。
注) 極端な位置で操作しようとすると操作性が悪くなる場合があります。

製品のお手入れ方法

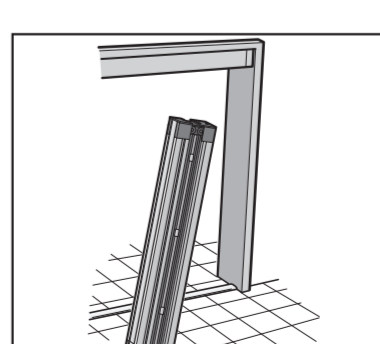


1. レールとそのまわりの清掃
レール及びレールのまわりに小石、砂、ほこり、泥などがたまりますと、部品の磨耗や破損が起き、スムーズな開閉ができなくなります。汚れを取り除くためにこまめに清掃してください。



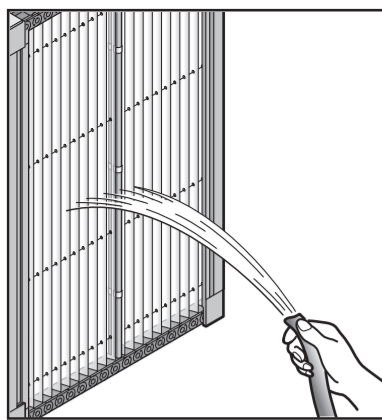
2. 網戸本体の取りはずし
網戸本体は簡単に取りはずして、水洗いができます。プリーツネット、スコピオンテイルが汚れましたらブラシ等を用いて洗ってください。

- ①網戸本体の収納枠に両手をかけ戸当り枠方向に引っ張るとアンカープレートから収納枠がはずれます。この時、端部から順にはずすと簡単です。

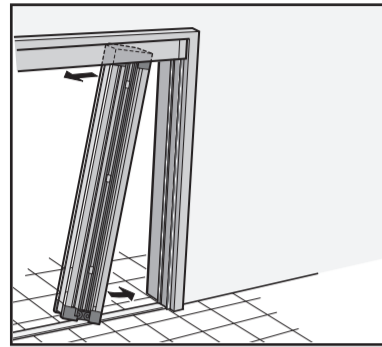


- ②網戸本体を斜めにして上枠から取り出します。

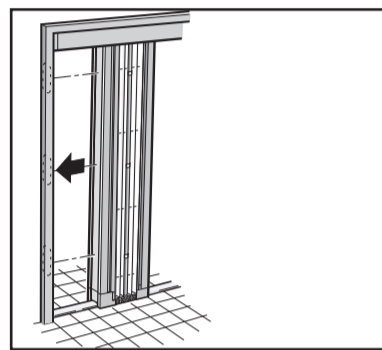
(裏面に続きます。)



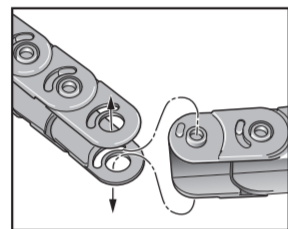
3. 網戸本体の水洗い
 ①網戸を広げ、立て掛けてください。
 ②柔らかいブラシ等で水をかけながら洗ってください。
 (注) ネットやワイヤーを傷めないように注意してください。
 汚れがひどい場合は中性洗剤を使用してください。
 シンナー、ベンジン等の有機溶剤は絶対使用しないでください。



4. 乾燥
 水洗い後は網戸本体の各部を充分に乾燥させてください。
 (注) 充分に乾燥しないまま使用すると操作が重くなります。また、砂、泥、ほこり等がつきやすくなります。
5. 網戸本体の再取付
 ①網戸を収納します。
 (注) 平らな床面を利用し、上部スコーピオンテイルが収納されることを確認しながらゆっくり収納します。
 ②網戸本体の上下を確認します。スコーピオンフィッシュに上側シールが貼付されている方が上になります。
 ③網戸本体を斜めにして上枠とレールの間に入れます。



- ④網戸本体の下側がレールから浮かないようにしながら収納枠をアンカープレートの突起に合わせてパチッと音がするまで押しつけるとはまって固定されます。
 (注) 再取付後網戸収納枠を引っ張りアンカープレートからはずれないことを確認してください。
 作業中スコーピオンテイルの連結がはずれないように注意してください。方がはずれなくても簡単に連結できます。他の連結部に合わせて連結させてください。



安全にお使いいただくために

- 警告——警告を守ってください。火災や大けが、死亡の原因となります。
 ① 製品の近くに、温度の高くなる器具などを置かないでください。火災の原因となることがあります。
 ② ネットに寄り掛かったり、押ししたり、重いものをたてかけたりしないでください。網戸がはずれ、網戸の落下や、転落事故につながります。
 ③ 風の強い日や、突風の吹く日はネット収納するかドアを開けてください。倒れたり、落ちたりして破損やけがの原因となることがあります。

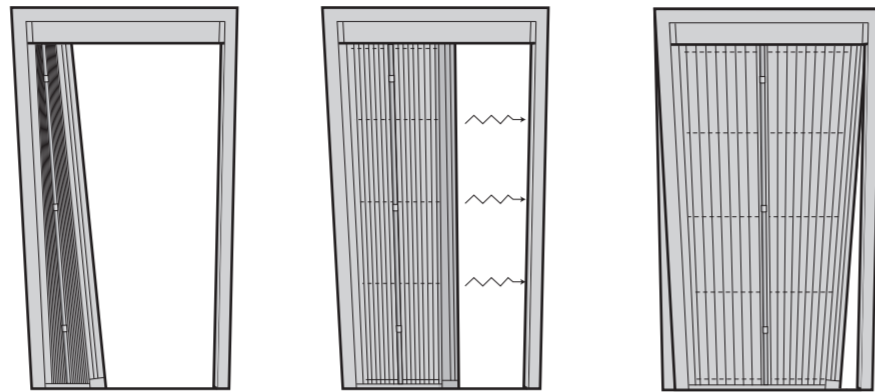
- 注意——注意を守ってください。けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
 ① 製品の分解、改造及び部品の改造は絶対に行わないでください。また、油性の潤滑剤スプレー等を使用しないでください。砂泥等が付着し、故障の原因となります。
 ② ネットの収納時にはネットが確実に折りたたまれたことを確認してください。ネットにくせがつき、折りたたみに不具合が発生します。

製品保証について

1. 保証期間
 保証期間——販売日から2か年
 販売日については、ガイドプレートに貼付されたシールに印字してあります。
2. 無料修理規定
 取扱説明書の注意事項に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理いたします。
3. 製品保証の免責事項
 ①使用上の誤り、また不当な改造による故障及び損傷。
 ②お買い上げ後の取付場所の移動、引っ越し、輸送等による故障及び損傷。
 ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、ガス害等による故障及び損傷。
 ④車面、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 ⑤証明書の提示がない場合
4. 補修用性能部品の最低保有期間
 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

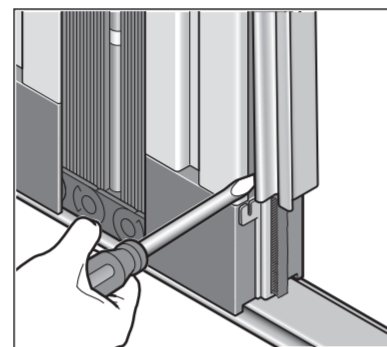
- アフターサービスについておわかりにならないときは、お買い上げの販売先にお問い合わせください。
 ■部品についてのお問い合わせは、部品名称をご参照ください。
 ■本品の規格及び外観は改良のために、予告なしに変更することがありますので御了承ください。

Q1 スライドバーが傾いて滑らかに動かない。スライドバーと収納枠が平行でなく、ブリーツネットの納まりが悪い。スライドバーの走行、操作感が重(軽)すぎる。スライドバーと戸当枠に隙間ができた。

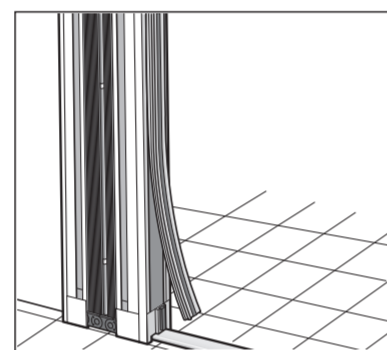


A1 ワイヤーの調整をしてください。

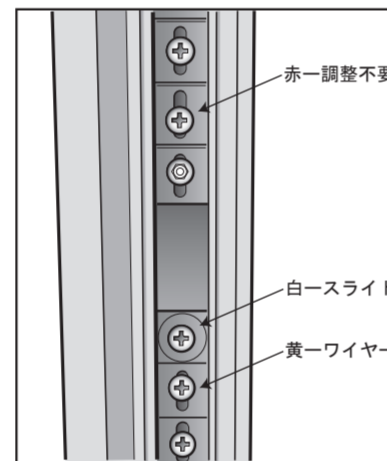
ワイヤーの調整



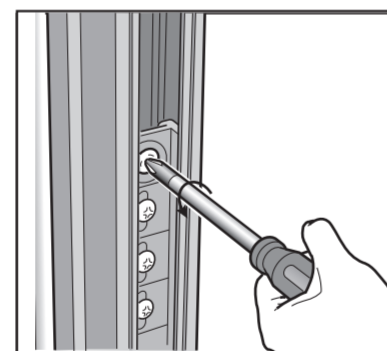
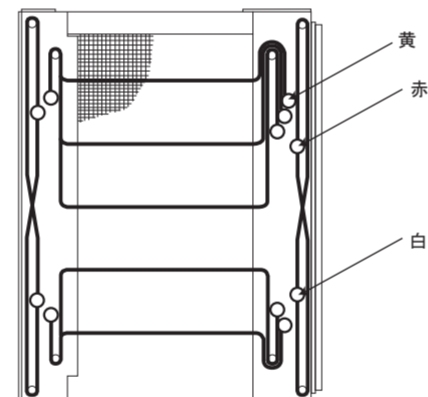
1. マグネットホルダーの取りはずし
 ①スライドバーの傾きを調整する調整ねじはスライドバー内側に隠れています。スライドバーについているマグネットホルダーをはずしてから調整します。
 ②スライドバー下側のマグネットホルダーとスライドバーの隙間にマイナスドライバーの先端を差し込み、マグネットホルダーを持ち上げてはずします。



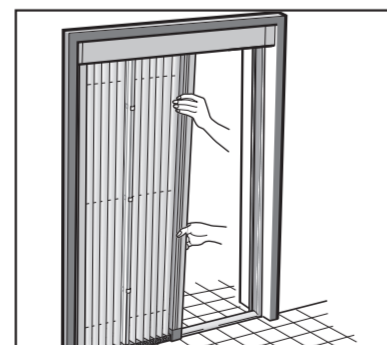
はずれた部分を持って下から引き剥がすようにして上まで全部はずします。



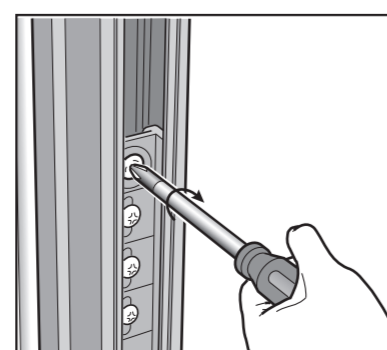
- ③スライドバーの傾きを調整するねじとワイヤーの張り具合を調整するねじの位置を確認します。



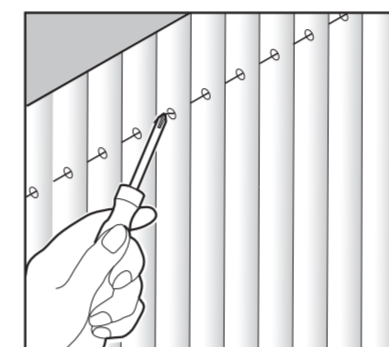
2. スライドバーの傾き調整
 ①白のねじをゆるめます。
 (注) ねじの裏にはナットが付いています。ねじをゆるめすぎるとナットがはずれてしまいますのでゆるめすぎないようにしてください。



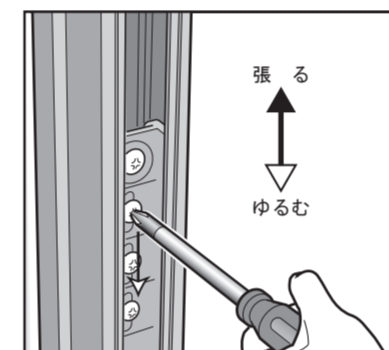
- ②スライドバーの傾きを調整します。



- ③白のねじを締めつけ固定します。
 (注) ねじを強くしめすぎたり、電気ドライバーを使用しないでください。部品やねじが破損する場合があります。
 (注) スライドバーの傾きを調整した場合は必ず、ブリーツネットに通っているすべてのワイヤーの張り具合を確認し、適当でない場合は調整してください。
 (3. ワイヤーの張り具合調整参照)

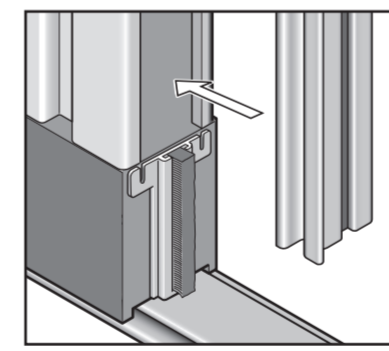
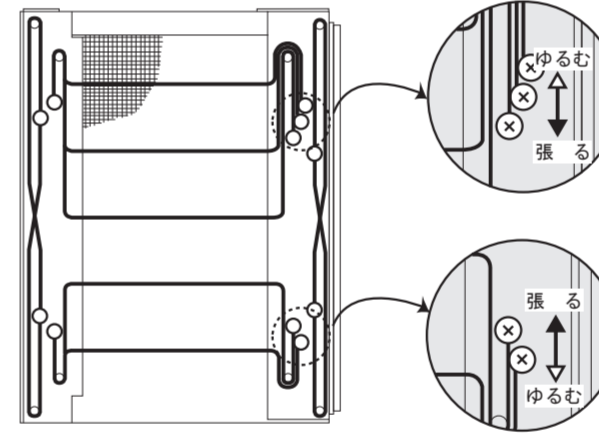


3. ワイヤーの張り具合調整
 ①ブリーツネットに通っているワイヤーは張りすぎたり、ゆるんでいると操作感が重(軽)くなります。ワイヤーに張力がかかっていない状態が最適です。
 ②ワイヤーの張り具合をドライバーの先端などでワイヤーの下から軽く触れ、張りすぎず、たるみのないようになら調整します。



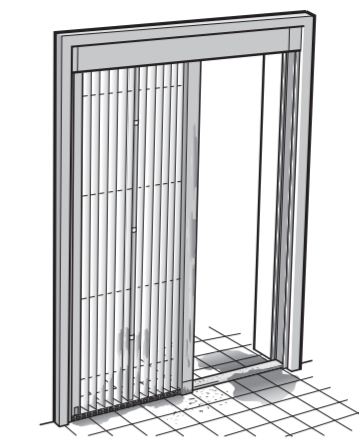
- ③ワイヤーの配線図を参考に黄のねじで調整します。
 ④調整後はねじを締めつけ固定します。
 ⑤スライドバーを左右に動かし、走行、操作性を確認し、具合がよくなるまで調整します。

ワイヤー配線図



4. マグネットホルダーの取付け
 調整が終了しましたらスライドバーにマグネットホルダーを取り付けてください。
 ①スライドバー下部の溝に合わせ押し付け取付けます。

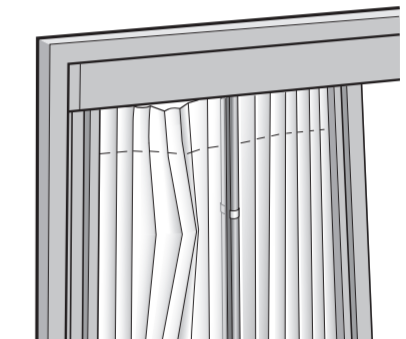
Q2 レール及びレールのまわりに小石、砂、ほこり、泥が付着してスライドバーを操作すると動きが滑らかでない。



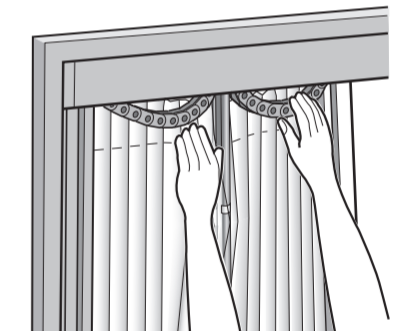
A2 レールとそのまわりはこまめに清掃してください。(製品のお手入れ方法参照)

Q3 風の強い日や、突風の吹く日に網戸を収納せず使っていたらネットの上からスコーピオンテイルが落ち、垂れさがった。

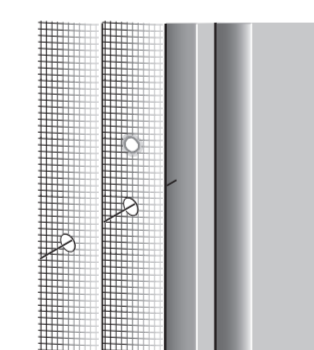
Q4 ネット上部を手で押ししたり、物が当たったりしたところ、ネットの上からスコーピオンテイルが落ち、垂れさがった。



A3-A4 スライドバーが倒れないようにしながらスコーピオンテイルを元の位置(ネットの上)に戻してください。
 ※無理にスライドバーを動かすと倒れて危険です。万一、スライドバーが倒れてしまった場合は、製品を取付枠からはずし、再度組み直してから取り付けてください。
 ※バラバラになったスコーピオンテイルは現場で修理できない場合があります。販売先にお問い合わせください。



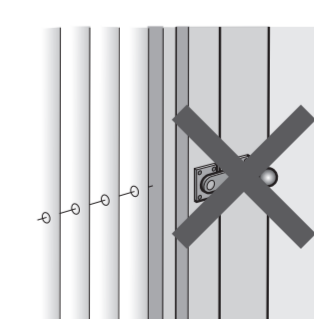
Q5 ブリーツネットやネットに通っているワイヤーに誤ってタバコの火が触れ溶けて穴があったり、刃物で切ってしまった。



A5 この製品は構造上、ブリーツネットの張り替えはできません。網戸本体を交換することになります。販売先にお問い合わせください。小さい穴には市販の網戸用穴ふさぎ補修シールが便利です。

Q6 スライドバーや収納枠に物があたり凹んで、スライドバーが動かなくなった。

Q7 市販の材料を使ってスライドバーに把手や鍵をねじ止めてつけたらスライドバーが動かなくなった。



A6-A7 この製品は構造上スライドバーや収納枠の内にスコーピオンテイルが収納されます。形材(アルミ製)に穴をあけたり、ねじを使って把手や鍵を取り付けしないでください。ねじを取りはずしても動かない場合や、形材の凹みが原因の場合は網戸本体を交換することになります。販売先にお問い合わせください。